

岐阜大学 松村教授より「美濃柴犬の遺伝学」の講義を行っていただきました!

11月10日(火) 本校にて、岐阜大学出前講義が開催されました。

岐阜大学応用生物科学部にて、美濃柴犬の遺伝などを研究されている 松村秀一教授より、講義を行っていただきました。

講義を受けた生産科学科2年生は、学校で飼育する美濃柴犬の遺伝情報に、さらに関心を持つことができました。また、大学の講義を体験する良い機会となりました。

講義の様子



松村教授

「PCR法によって、
遺伝子を解析しているよ。」
「PCR法って、最近、
よく耳にするよね。」

「近親交配と近交弱勢とは・・・」
「だから、美濃柴犬の保護は、
必要なのですね。」

生徒たちの感想

「私たちは、今学校で飼育している美濃柴犬の繁殖を考えています。

ぜひ、どのような遺伝情報を持っているのを知りたいです。」

「そして、繁殖させる個体について、その形質から選んでいきたいと
思います。」

「今日は、本当に勉強になりました。ありがとうございました。」

勉強になったワン!

豆知識 「美濃柴犬とは？」

岐阜県産の小型の地犬。山間部で小獣猟や鳥猟のために用いられたと考えられている。

「赤一枚」「緋赤」といわれる特徴的な毛色をしている。人や他の犬に対しては比較的穏和な性格。

戦前から戦後に数を急速に減らし、「絶滅した」とも言われた。1976年、岐阜県美濃柴犬保存会が設立される。

現在は、全国に200頭弱と、希少な美濃柴犬を本校で2頭飼育している。